

脳腫瘍の治療

脳腫瘍は生命にかかわるだけではなく、神経障害を残しうる疾患です。また、がん診療において脳転移がみられることはまれではありませんが、定位放射線治療等の進歩により、「治療不可能な病態」ではなくなってきています。

これら原発性・転移性脳腫瘍の診断と治療について、また脳腫瘍に対する手術を行う際に神経障害を残さないために行う術中モニタリングについて、さらには脳腫瘍に対する放射線治療について専門医が解説します。

— プログラム —

講演1 「脳腫瘍の診断と治療」

成人病センター 脳神経外科 科長 齊木 雅章

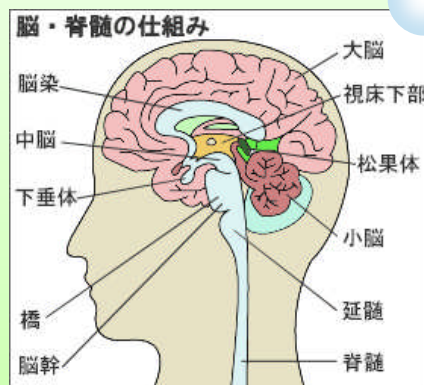
講演2 「術中神経機能モニタリング」

成人病センター 脳神経外科 医長 佐藤 岳史

講演3 「脳腫瘍に対する放射線治療」

成人病センター 放射線治療科 科長 山内 智香子

【司会進行】成人病センター 脳神経外科 科長 齊木 雅章



● 日 時：平成24年7月19日(木) 18:00~19:30
(受付17:30~)

● 会 場：滋賀県立成人病センター 研究所講堂
【住所】守山市守山5-4-30
【交通】JR守山駅からバス約10分

● 対象者：医療従事者・医療関係者

● 定 員：150名(当日先着順)

● 申込不要・参加費無料・駐車場無料(受付で無料化手続きします)

【会場案内図】



※今回のセミナーは、日本医師会生涯教育制度指定講習会(1.5単位)です。